

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				/	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度 /		
項 目	広報費	金 額	213,620円 /		
内 容	会派市政報告書45000部ポスティング費 (No3) /				
支 払 先	株式会社パワフルコム /	支払年月日	令和 2年 1月 14日 /		
備 考	振込手数料 770円含む。				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

☐ 現金・小切手による振込金受取書 (兼手数料受取書)
☒ 預金払戻請求書による振込受付書 (兼手数料受取書)

ご依頼日 令和1年1月14日

お振込先
お振込日 02年 月 日
010114
お方振込法 電信

当信銀信農漁
金金行組協他

支店

お振込先

フリガナ
お受取人

カフシキカクシャ

ワフルコムタビョウト

おなまえ リンマリヤクオカワヨウジロ

株式会社ワフルコム
代表取締役 小川洋次郎 様へ

様へ

フリガナ
ご依頼人

カコカクシキカイシ

ヨセイノエカオテミラ

イソツルカイトイシン

おでん 加古川市議会

おなまえ 加古川市議会
加古川市議会議員 山崎 誠 様から

おところ 加古川市加古川町北在家2000

預金種目

普通当座預金

口座番号

金額

¥212,850

通目

1-フリコミ
2-サキフリ

振込手数料

手数料区分

1. 郵渡
3. 後取(一括)
6. 別取

- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
電信扱いの場合には受取人名等をカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 渉外係が店外で受付した場合は、翌営業日の取組となりますのでご了承ください。

お振込手数料は
消費税込で表示されています。

ご利用くださいましてありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫

受付(2)
2014
但陽信用金庫
平野支店

受付

電話070-6666

御 請 求 書

印

印

請求番号 第

2001027

加古川市議会会派 女性の笑顔で未来を創る会と維新 御中

御請求日

2020年1月8日

下記の通り御請求申し上げます。

合計金額(消費税込)

¥

212,850



株式会社 パワフルコム 西明石営業所

〒673-0018 兵庫県明石市西明石北町3-1-22

TEL 078-920-1123 FAX 078-920-1141

品 名	数 量	税抜単価	税抜金額
【 レギュラーポスティング 】* 軒並み配布			
サイズ: A4/紙厚90k以下			
枚 数: 45,000枚			
配布期間: 1月12日～1月25日			
配布地区: 加古川市地区			
KA-4～10.15～20.22～24.26～30.32～48	45,000	4.3	193,500
* ご請求書がお手元に届きましたら、お手数をお掛け しますが、10日以内に下記指定口座への お振込みをお願いします。			
* 誠に申し訳ございませんが、振込手数料はご負担 願います。差し引いて入金されますと次回加算し 請求させていただきます、ご了承ください。			

(備考)金額には消費税が含まれます。

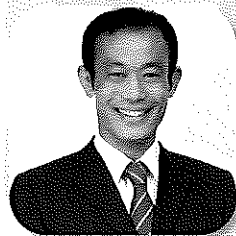
小計(税抜)	193,500
消費税(10%)	19,350
合計(税込)	212,850

◆振込口座

銀行 支店 店番号
 口座番号
 名義 株式会社パワフルコム 代表取締役 小川 洋次郎

※誠に申し訳ございませんが振込手数料はご負担願います。
 差し引いて入金されますと次月加算させていただきます、ご了承ください。

2019年12月一般質問

柘植 厚人
(つげ あつひと)

【学校外の多様な学びについて】

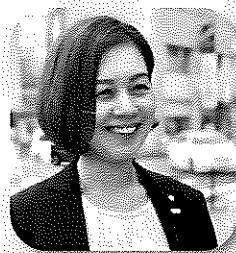
まず、学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催を求め、

▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設との情報交換の場を充実させてまいりたいと考えておりますとの回答をいただきました。次に学校外の多様な学び等に関する情報提供について求めたところ、▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設に関する情報について効果的な提供ができるよう検討してまいりますとの回答をいただきました。

【6次産業活性化について】6次産業活性化のための新商品開発補助金制度を求めたところ、

▼農業者との対話を通じて6次産業化に対する国や県の補助制度を活用するとともに、市としての支援のあり方について検討してまいりますとの回答をいただきました。

その他、6次産業活性化のためのマッチングイベントやセミナーの開催を求めるとともに、6次産業活性化に精通したコーディネーターによる相談対応、企業連携促進支援を求めました。

木 良子
(つばき よしこ)

【太陽光発電施設設置の規制強化について】太陽光パネルが業者から近隣の方々への説明が

なく、設置されました。今後も再生エネルギーの考えが進むにつれて、景観や自然環境の阻害、近隣住民のトラブルの発生など、このような事案がおこることが考えられることから、規制を強める事、また届け出の対象は、相談を受けたケースでは該当しない事について、加古川市独自で事業区域面積を小さくする等の設置が必要ではないかを伺いました。▼土地所有者の財産権の問題もあるので、立地規制を強める必要性については慎重に検討する。また、本市独自の新たな取組については、十分な精査が必要であり他都市の事例を参考に検討していくとの事でした。

【有機農業の推進について】私たちの身体は食べたもので作られています。今、子供たちの現状、地球環境も含め見つめなおす時期が来ています。安心安全な有機農業を広げ、確実な販路を作っていく事が大事であり、そこで、有機農業や自然農家さんと提携し、保育園給食に繋げる仕組みづくりを要望させて頂きました。▼有機農産物については現在生産量が非常に少ない為、安定的な供給が見込めない。現時点での給食の導入は極めて困難であるとのご答弁でした。次回また新たに・・・

落合 誠
(おちあいまこと)

【子どもの貧困の連鎖をなくす取り組みについて】加古川市の今後の支援について確認しました。

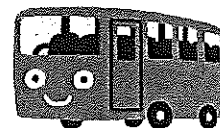
特に「子どもの貧困対策の計画」を策定することは、様々な制度や政策を実施するうえで重要であり、まず、計画策定について質したのに対して、県の計画策定を参考に策定するとの事でした。次に平成28年に加古川市の貧困家庭の現状を把握する調査を要望し、アンケートを実施することで、必要と思われる支援の一つとしての子ども食堂の支援策について確認しました。▼子ども食堂の認知度をアップさせて、市民に知って頂く施策と、今後、社会福祉協議会と連携して、まず、子ども食堂運営者同士の連絡会議を立ち上げて、今後の支援をより有効的に行っていくとの答弁でした。次に【ひとり親家庭等の子育て支援について様々な支援方法について】確認し、特に、住環境の確保について「市営住宅などの優先入居制度の確立」を質しました。▼今後、市では、若年層向け入居制度の導入を検討してもらう事になりました。最後に、子育て支援や子どもに関係する事業や制度は、当事者が時間経過で年齢が対象外になるまえに、早急に実施するよう強く要望しました。

令和2年度予算要望のうち 主なもの

● コミュニティバスの自動運転化の研究促進

バス運転手不足、高齢化の流れはこれからも進むと考える。

また路線の維持拡充の観点から、公共交通の最大のコストである人件費を自動運転により解消する研究を促進することを求める。



● 就職氷河期世代に対する職業訓練等支援策の充実

就職氷河期世代が社会に復帰して力強く自分の人生を歩めるように職業訓練等支援策の充実を求める。

● 女性議会の開催

中学生議会のように女性から理事者に対して一般質問をする議会を開催することを求める。

● 女性育成塾の実施

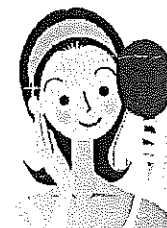
女性が市議会や審議会で活躍できるように市政等を勉強する育成塾を開催することを求める。

● 町内会等女性役員比率アップ補助金制度の設立

女性が地域や団体、職場などで活躍する事は、大変重要な事であり、町内会や自治会、市の審議会や議会などの公的な場で重要な内容を判断する時に女性が関わる割合を増やしていくべきと考える。

● ウィッグ代等補助金

がんは、治る病気になりつつあり、いつまでも綺麗でいたい女性心理と、おしゃれを意識することでの病気への抵抗力を促進し、医療費の抑制と患者の負担を軽減することを求める。

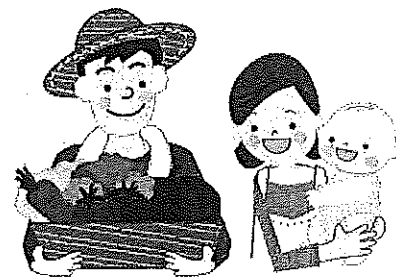


● 不登校児童対策

クラスに入れない、登校してもすぐ帰る生徒を含めた実態を把握し、市教育委員会として現状対応できる予算措置と、兵庫県教育委員会が策定するガイドランを指針とし、義務教育と認められていない学校以外の施設と、どのように連携したら児童生徒が教育を受ける機会を確保できるのか指し示すことを求める。

● 環境創造型農業の推進

県が推進している環境創造型農業や有機農業であるが、本市においても遊休農地の有効活用など、有機農産物の新たな流通実態の理解やオーガニックの食を通じた農産物の魅力を深めるために推進体制を強化することを求める。



議案第64号「加古川市医療費の助成に関する条例」の一部改正

子ども医療費助成で以下の態度表明をして賛成しました。私たちの会派では、設立当初より市民の子ども医療費の負担軽減への積極的な取り組みを要望しており、高校生までの入院費無料化を求めています。小中学までは、発育期間のため、通院費・入院費共にも無料化は、子育て世代の支援策として当然と認識しております。高校生の家庭については、急な入院による個人負担増をなくすことは、非常に重要と考えており、今回の所得制限をなくすことは、当会派の要望している高校生までの子ども医療費無料化への一歩と認識しており、今後も継続的に要望していきます。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2

会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	広報費	金 額	9,900円
内 容	会派市政報告書3000部新聞折込代 (No.2)		
支 払 先	読売YC東加古川	支払年月日	令和 2年 1月 14日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

YC 領 収 書

区域

全戸

お問合せNo

お名前 女性の笑顔で未来を創る会と維新 御中

年 月分

銘 柄	部 数	金 額
1 あり:みい入	3,000	9,000
2		
3 ④3 Tax		900
合 計	9,900	円

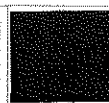
◇左記の通り領収しました

領収日 2年 1月 14日

ご購入ありがとうございます。
今後とも宜しくお願い致します。

読売YC東加古川 Tel 079-424-3720
加古川市平岡町新在家 2 3 6 - 1

領収印



2019年12月一般質問

柘植 厚人

(つげ あつひと)



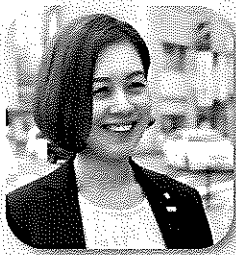
【学校外の多様な学びについて】

まず、学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催を求め、
▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設との情報交換の場を充実させてまいりたいと考えておりますとの回答をいただきました。次に学校外の多様な学び等に関する情報提供について求めたところ、▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設に関する情報について効果的な提供ができるよう検討してまいりますとの回答をいただきました。

【6次産業活性化について】6次産業活性化のための新商品開発補助金制度を求めたところ、
▼農業者との対話を通じて6次産業化に対する国や県の補助制度を活用するとともに、市としての支援のあり方について検討してまいりますとの回答をいただきました。
その他、6次産業活性化のためのマッチングイベントやセミナーの開催を求めるとともに、6次産業活性化に精通したコーディネーターによる相談対応、企業連携促進支援を求めました。

木 良子

(つばき よしこ)



【太陽光発電施設設置の規制強化について】太陽光パネルが業者から近隣の方々への説明がなく、設置されました。今後も再生エネルギーの考えが進むにつれて、景観や自然環境の阻害、近隣住民のトラブルの発生など、このような事案がおこることが考えられる事から、規制を強める事、また届け出の対象は、相談を受けたケースでは該当しない事について、加古川市独自で事業区域面積を小さくする等の設置が必要ではないかを伺いました。▼土地所有者の財産権の問題もあるので、立地規制を強める必要性については慎重に検討する。また、本市独自の新たな取組については、十分な精査が必要であり他都市の事例を参考に検討していくとの事でした。

【有機農業の推進について】私たちの身体は食べたもので作られています。今、子供たちの現状、地球環境も含め見つめなおす時期が来ています。安心安全な有機農業を広げ、確実な販路を作っていく事が大事であり、そこで、有機農業や自然農家さんと提携し、保育園給食に繋げる仕組みづくりを要望させて頂きました。▼有機農産物については現在生産量が非常に少ない為、安定的な供給が見込めない。現時点での給食の導入は極めて困難であるとのご答弁でした。次回また新たに・・・

落合 誠

(おちあいまこと)



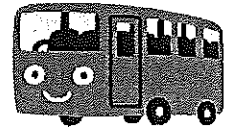
【子どもの貧困の連鎖をなくす取り組みについて】加古川市の今後の支援について確認しました。特に「子どもの貧困対策の計画」を策定することは、様々な制度や政策を実施するうえで重要であり、まず、計画策定について質したのに対して、県の計画策定を参考に策定するとの事でした。次に平成28年に加古川市の貧困家庭の現状を把握する調査を要望し、アンケートを実施することで、必要と思われる支援の一つとして子ども食堂の支援策について確認しました。▼子ども食堂の認知度をアップさせて、市民に知って頂く施策と、今後、社会福祉協議会と連携して、まず、子ども食堂運営者同士の連絡会議を立ち上げで、今後の支援をより有効的に行っていくとの答弁でした。次に【ひとり親家庭等の子育て支援について様々な支援方法について】確認し、特に、住環境の確保について「市営住宅などの優先入居制度の確立」を質しました。▼今後、市では、若年層向け入居制度の導入を検討してもらう事になりました。最後に、子育て支援や子どもに関係する事業や制度は、当事者が時間経過で年齢が対象外になるまえに、早急に実施するよう強く要望しました。

令和2年度予算要望のうち 主なもの

● コミュニティバスの自動運転化の研究促進

バス運転手不足、高齢化の流れはこれからも進むと考える。

また路線の維持拡充の観点から、公共交通の最大のコストである人件費を自動運転により解消する研究を促進することを求める。



● 就職氷河期世代に対する職業訓練等支援策の充実

就職氷河期世代が社会に復帰して力強く自分の人生を歩めるように職業訓練等支援策の充実を求める。

● 女性議会の開催

中学生議会のように女性から理事者に対して一般質問をする議会を開催することを求める。

● 女性育成塾の実施

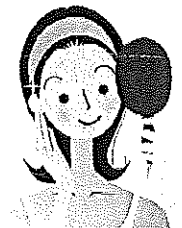
女性が市議会や審議会で活躍できるように市政等を勉強する育成塾を開催することを求める。

● 町内会等女性役員比率アップ補助金制度の設立

女性が地域や団体、職場などで活躍する事は、大変重要な事であり、町内会や自治会、市の審議会や議会などの公的な場で重要な内容を判断する時に女性が関わる割合を増やしていくべきと考える。

● ウィッグ代等補助金

がんは、治る病気になりつつあり、いつまでも綺麗でいたい女性心理と、おしゃれを意識することでの病気への抵抗力を促進し、医療費の抑制と患者の負担を軽減することを求める。

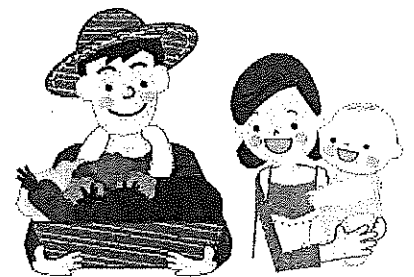


● 不登校児童対策

クラスに入れない、登校してもすぐ帰る生徒を含めた実態を把握し、市教育委員会として現状対応できる予算措置と、兵庫県教育委員会が策定するガイドランを指針とし、義務教育と認められていない学校以外の施設と、どのように連携したら児童生徒が教育を受ける機会を確保できるのか指し示すことを求める。

● 環境創造型農業の推進

県が推進している環境創造型農業や有機農業であるが、本市においても遊休農地の有効活用など、有機農産物の新たな流通実態の理解やオーガニックの食を通じた農産物の魅力を深めるために推進体制を強化することを求める。



議案第64号「加古川市医療費の助成に関する条例」の一部改正

子ども医療費助成で以下の態度表明をして賛成しました。私たちの会派では、設立当初より市民の子ども医療費の負担軽減への積極的な取り組みを要望しており、高校生までの入院費無料化を求めています。小中学までは、発育期間のため、通院費・入院費共にも無料化は、子育て世代の支援策として当然と認識しております。高校生の家庭については、急な入院による個人負担増をなくすことは、非常に重要と考えており、今回の所得制限をなくすことは、当会派の要望している高校生までの子ども医療費無料化への一歩と認識しており、今後も継続的に要望していきます。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				3	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	調査研究費	金 額	2,527円		
内 容	加古郡リサイクルプラザ手土産代 (1月8日観察)				
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和 2年 1月 10日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)					

No 91429

領 収 証

加古川市議会
女子生の笑顔で未来を創る会館

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			4	2	5	2	7

収 入

印 紙

但 手土産代として

上記の通り正に領収致しました

平成 2 年 1 月 10 日
令和

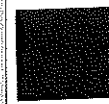
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



出張調査届			
令和 元 年 12 月 24 日			
市 議 会 議 長 様			
会派名 <u>女性の笑顔で未来を創る会と維新</u> 代表者 <u>柘植 厚人</u>			
このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。			
出張者氏名 柘植 厚人、落合 誠			
調査都市名及び調査内容 1月8日（水）10：00～12：00 加古郡リサイクルプラザ 「リサイクルプラザの活動概要等について」			
出張期間 令和2年1月8日（水）～令和2年1月8日（水）（1日間）			
旅 費 内 訳	日 当 （ ）	円	経 路 加古川市役所 （自家用車） 加古郡リサイクルプラザ 以下復路
	宿 泊 料 （ ）	円	
	鉄 道 賃 （ ）	円	
	急行料金 （ ）	円	
	航 空 賃 （ ）	円	
	車 賃 （ ）	円	
	船 賃 （ ）	円	
	出席者負担金 （ ）	円	
	そ の 他 （ ）	円	
	合 計	0 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。
 ※自家用車による移動のため、旅費については政務活動費からの支出は行わない。



出張調査研修報告書

令和2年1月14日

市議会議長様

女性笑顔で未来を
会派名 創る会と維新

出張者氏名 落合 誠

柘植 厚人



印

印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和2年1月8日～令和 年 月 日

視察先 加古郡リサイクルプラザ

視察（調査）事項

別紙

復命事項（所見及び感想）

別紙

出張に伴う経費の精算

前渡金額 0 円

精算額 0 円 過不足額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

別紙

出張調査研修報告書

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 落合 誠

柘植 厚人

視察（調査）事項および復命事項（所見および感想）

視察（調査）事項1 加古郡リサイクルプラザの設立経緯について

平成 5 年に稲美町および播磨町にて不燃粗大ごみ処理の施設整備を国庫補助事業（廃棄物再生利用総合施設整備事業）として加古郡衛生事務組合にて実施することを決定した。

当時の交付要件として、単にごみの処理・減量・資源化施設としてではなく、住民及び利用者等に対して、幅広くゴミの減量・資源化の趣旨の啓発・普及を図る啓発施設の併設が求められていた。

平成 10 年に竣工した加古郡リサイクルプラザは、不燃粗大ごみの処理施設及びペットボトルの資源化施設からなる工場棟並びに住民参加型の学習啓発施設のプラザ棟（はりま里彩来館）にて構成し、3 R の普及啓発のキーステーションとして位置づけした。

復命事項（所見および感想）

実際に現地を訪問して、敷地面積が広く、建物施設が立派であることのみならず、職員の方々がサービス内容の充実向上に関して前向きに創意工夫をしながら運営されていることが印象に残った。これは上記設立経緯である、3 R の普及啓発のキーステーションとして位置づけられたことに関係していると考ええる。

視察（調査）事項2 加古郡リサイクルプラザの活動概要について

処理・資源化実績 平成 30 年度

別紙「資料1 加古郡衛生事務組合（衛生センター・プラザ・斎場）処理事務実績」参照。

復命事項（所見および感想）

粗大・不燃ごみ（搬入ベース）、ペットボトル・プラ容器包装（搬入ベース）、処理困難物、資源化物回収量（搬入ベース）は減少傾向にある。これは官民のごみ減少努力のたまものと考ええる。またジモティ等ネット上における市民間の不用品取引の進展や、リサイクル業者の台頭もその原因と考ええる。

視察（調査）事項3 加古郡リサイクルプラザの収支概要について
別紙「資料2 加古郡衛生事務組合の概要について」参照。

視察（調査）事項4 加古郡リサイクルプラザのリサイクル品取扱量と総額について

別紙「資料1 加古郡衛生事務組合（衛生センター・プラザ・斎場）処理事務実績」参照。
復命事項（所見および感想）

・リユース自転車の入札について

盗難自転車がまぎれこむ可能性がある点、盗難品か否かの確認を警察に依頼していたが件数があまりに多いため処理可能件数を越えた点、高価値の有名メーカーの自転車はごみ回収ステーションで持ち去りにあうことが多い点から、リユース自転車の入札を平成15年に終了したとのご説明を受けた。

現在はリユース家具の展示中に自転車の展示を合わせて行う場合があるという程度の取り扱いであるとのことである。盗難自転車がまぎれ込む可能性に関して、西ノ宮市においては、一度分解組みなおして別個の新たな自転車として防犯登録しなおすという工夫をしているとのことである。ただしこの手法は防犯登録費用負担の問題や、地元自転車販売店が防犯登録のみのサービス提供に難色を示すなど問題がある。ニーズの多い、高価値の有名メーカーの自転車に限定して、自宅に回収に伺うというサービスを行えば上記各課題を克服できるのではないかと提案させていただいた。

また貸出専用自転車としてリペイントして、大きなプレートを付けて利用することにより、盗難自転車ではないかの疑義を払拭して安心して有効活用できるのではないかと提案をさせていただいた。

・ベビー用品について

リユース品の点数が少なく、かつ人気が高いことから納税者たる地元住民に対する十分な供給量を確保し難いことが課題とのことである。地域住民のための別コーナーを用意することでこの課題に対して一定の解決方法を提示していた。

視察（調査）事項5 加古郡リサイクルプラザの現在の課題について

・処理・資源化関係について

不燃粗大ごみの減量（平成30年度/平成28年度比116.8%）と不適切排出対策が課題である。

復命事項（所見および感想）

・ゴミステーションの数の多さ、マンパワーの限界から自治体職員が不適切排出を取締ることは難しいとのことである。地域住民も高齢化や現役世代の多忙さから不適切排出を監視することには限界がある。そこで監視カメラの充実や顔認証システムの導入といったテクノロジーの進化により対応する必要があると考える。

・ 3 R啓発関係について

非関心層への啓発（啓発メニュー・参加者の固定化）が課題である。

・ 吹きガラス事業について

吹きガラス事業の運営には 1200 万円必要である。これは他事業にくらべると高コストである。また参加者も固定化したことから事業を見直すとのことである。

・ リメイク事業について

リメイク事業は炉の老朽化により安全性の担保に不安が生じたため今年度から廃止することである。

・ ガラス工房インストラクターの確保について

令和 3 年度はガラス工房インストラクターの確保が困難であるとのことである。

・ 炉のメンテナンスについて

炉の製造業者が遠方（佐賀県）であるため、迅速なメンテナンス・補修が困難であることが課題である。この点も考慮して設備更新する必要がある。

・ リユース品の安全性について

自動車用チャイルドシート等は特に安全性が問題となる。しかしリユース品の宿命としてその点確実な安全性は担保することは難しい。したがって市民はその点を十分に理解して利用することが求められる。にもかかわらず実際には注意書をきちんと読んでいない市民がいることが課題である。口頭で読み上げたうえ署名をいただく等の工夫が必要である。

・ 貸出品の返却について

貸出品について期限を越えても返却されない事態が生じているとのことである。引越等の際に紛失することのないように、目立つ箇所に貸出品であることを明示したプレートを貼付する等工夫が必要である。

視察（調査）事項 6 加古郡リサイクルプラザの今後の展望について

・ 処理・資源化関係

現行の住民サービスの維持について、播磨町と稲美町がどの程度費用負担できるのか、啓発費用をどの程度だせるのかが課題である。

・ 3 R啓発関係

新広域処理施設との連携・棲み分け（啓発内容の見直し）が今後問題となる。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				4	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	調査研究費	金 額	2,106円		
内 容	明石市手土産代 (1/4 視察)				
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和 2年 1月 13日		
備 考					
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

No 91056

領 収 証

女性の笑顔が未来を
創る会 へ 謹謝 殿

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			7	2	1	0	6

収 入

印 紙

但 手土産代として
上記の通り正に領収致しました

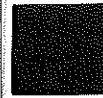
平成 2 年 1 月 18 日

加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社 春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



出張調査届			
市議会議長様		令和元年12月25日	
会派名 <u>女性の笑顔で未来を創る会と維新</u> 代表者 <u>柘植 厚人</u>			
このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。			
出張者氏名 柘植 厚人			
調査都市名及び調査内容 1月14日（火）14：00～16：00 明石市 「幼児保育・教育の無償化に伴う副食費の無償化について」 「幼稚園の延長保育について」 （明石市中崎1丁目5番1号）			
出張期間 令和2年1月14日（火）～令和2年1月14日（火）（1日間）			
旅 費 内 訳	日 当 ()	円	加古川駅 明石市役所 以下復路 (自家用車)
	宿 泊 料 ()	円	
	鉄 道 賃 ()	円	
	急行料金 ()	円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	0 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。
 ※自家用車による移動のため、旅費については政務活動費からの支出は行わない。



出張調査研修報告書

令和 2 年 1 月 15 日

市議会議長様

女性の笑顔で未来を創る会

会派名 と維新

出張者氏名 梶植 厚人



印

印

印

印

下記のとおり報告します。

日 程 令和 2 年 1 月 14 日 ~ 令和 年 月 日

視察先 明石市

視察（調査）事項

別紙

復命事項（所見及び感想）

別紙

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 0 円

精 算 額 0 円 過 不 足 額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

明石市出張調査研修報告書

柘植厚人

第1 幼児保育・教育の無償化に伴う副食費の無償化について

1 視察（調査）事項

(1) 視察（調査）事項の概要

明石市における幼児保育・教育の無償化に伴う副食費の無償化施策について視察させていただいた。これは、国の幼児教育・保育無償化施策では、保護者負担となる給食費のうち、現在明石市独自で実施している第2子以降保育料無償化事業の対象としている副食費については、引き続き無償化の対象とするとともに、これまで明石市の無料化事業では対象としていない第1子の2号認定児童、全ての1号認定児童の給食費にかかる副食費（おかず代）についても新たに無料化の対象とするものである。具体的には、保護者が利用施設に対して、副食費を実費負担する代わりに、明石市が施設に対して副食費相当額を支給するものである。

(2) 当該施策の趣旨・目的

令和元年10月から実施されている国の幼児教育・保育無償化施策では児童の年齢や利用施設によって給食費の取扱いが異ならないように、給食費は一律保護者負担とされている。しかし、明石市が平成28年より実施している第2子以降保育料無料化事業では、保育料に含まれている給食費についても無料化の対象としている。このため国の無償化施策が実施された場合、例えば、第1子は主食費及び副食費を保護者が実費負担し、第2子以降は主食費のみ保護者が負担する等、兄弟間で負担内容が異なるような事例が発生する。このような国の無償化施策と明石市の無料化事業における制度上の違いの整合性を図るとともに、同年齢の児童の取扱いを統一するため、3～5歳クラス児童の給食費のうち、副食費について新たに明石市の無料化事業の対象とすることが当該施策の趣旨・目標である。

(3) 当該施策の具体的内容

対象施設及び対象児童は、給食の提供を行う就学前教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）を利用する1号認定児童及び2号認定児童（3～5歳クラス児童）である。当該施策は令和元年10月に国の幼児教育・保育の無償化施策に合わせて実施された。予算額は1億1千万円であり、令和元年度当初予算に計上された。対象児童は1号認定児童（幼稚園が2名、認定こども園（幼稚園部分が422名）、2号認定児童（保育所が2813名、認定こども園（保育所部分）が580名）合計3817名である。

2 復命事項（所見及び感想）

この施策は国に先行して子育て支援を充実させていた明石市が、国の幼児教育・保育無償化施策の実施を機に支援対象を充実させたものである点で評価できる。しかもこの国の幼児教育・保育無償化施策により、明石市の財政負担が7億5千万円軽減されることにともない、1億1千万円の予算措置を講じたものである。つまりトータルで明石市の財政負担は6億4千万円軽減しつつ、市民の満足度を向上させた点が見事であると言わざるを得ない。しかも全国的に子育て支援が手厚い明石市というブランド力を再認識させたPR活動も見習いたい。

第2 幼稚園の延長保育について

1 視察（調査）事項

(1) 当該制度の概要

明石市では市立幼稚園27園全てで預かり保育を実施している。この実施園のうち13園は最大8時から18時までの利用が可能である。保育施設の入所要件を有する方に限り、中学校区単位での預かり保育延長実施園に就園することが可能である。この場合区域外申請が必要であり、年度途中の転園や申請も可能である。

復命事項（所見及び感想）

中学校区単位での預かり保育延長実施園に就園することが可能であるが、以下の問題点があると感じた。例えば人丸幼稚園の園区に居住している園児は延長保育を受けるためには同じ大蔵中学校区にある播陽幼稚園に通園する必要がある。しかも駐車スペースの制約から自動車での送迎は禁止されている。徒歩か自転車で保護者は送迎することになるがこれは朝の慌ただしい時間帯において決して軽い負担ではない。この保護者の職場が大観幼稚園の付近にある場合は、保護者が通勤のついでに自動車で大観幼稚園に送迎することを認めるべき必要性を感じた。

(2) 当該制度の具体的内容

・実施日について

この制度は保育を実施しない土・日・祝日、12月29日から1月3日をのぞく日に行われる。実施時間は8時～保育開始までと16時から18時までである。

復命事項（所見及び感想）

終了時刻が18時では、18時以降も就労せざるを得ないシングルマザー等にとって利用し難い制度と言わざるを得ない。

・定員について

当該制度の定員は35名であり、定員を超えた日については、抽選を実施する。ただし就労等の理由で利用の方は優先利用となる。

復命事項（所見及び感想）

約29万人いる明石市の人口規模からして35名の定員が妥当か、予算との兼ね合いで難しい点があろうが、利用希望者の事情や抽選倍率等を分析し、真に利用を必要として

いる方が利用できない状況が発生していないか再検討の必要性を感じる。

- ・対象となる者について

対象となる者は預かり保育実施園に在籍する園児である。

- ・保育料金について

保育料金は、1時間150円で、1日の利用時間の1時間未満は切り上げとなる。

- ・負担軽減措置について

保護者の就労等、別途定める基準を満たし、認定を受けた場合、一般利用枠の優先利用で幼稚園に申請した場合2割引きとなる。また就労世帯等利用枠で市に申請する場合5割引きとなる。また保育の必要性の認定（施設等利用給付認定）を受けている場合、その月の利用日数×450円を上限として無償になる。さらに生活保護法による被保護世帯など、預かり保育利用料金の支払いが免除となる場合がある。

復命事項（所見及び感想）

延長保育を利用せざるを得ない市民はシングルマザー等生活困窮者が少なくない。したがって負担軽減措置は妥当と考える。

- ・給食について

預かり保育中の給食を希望する場合は給食費（主食＋副食費相当額）が預かり保育料金に加えてかかる。

- ・おやつについて

持参となる。ただし保育の必要性の認定を受けた方は主食費相当の負担のみとなる。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号	
			5	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	研修費	金 額	12,470円	
内 容	市町村議会議員研修【2日間コース】 講義「地域防災力を向上させるために」他 事例紹介「災害弱者への対応～熊本地震における経験より～」他			
支 払 先	JR等	支払年月日	令和 2年 1月 9日	
備 考	振込手数料550円含む			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

☐ 現金・小切手による振込金受取書 (兼手数料受取書)

☒ 預金払戻請求書による振込受付書 (兼手数料受取書)

ご依頼日 年 月 日

お振込日

年 月 日

お方振込法

電信

当信銀信農協他

預金種目

普通当貯金口座番号

種目

1-フリコミ
2-サキフリ

振込手数料

金額

77,300

¥550

手数料区分

1. 部度
3. 後取(一括)
6. 別取

- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
電信扱いの場合には受取人名等をカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害または郵便物の遅延等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 涉外係が店外で受付した場合は、翌営業日の取組となりますのでご了承ください。

※行送手段別には
消費税が加算されています。

ご利用くださいましてありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫

受付(1)

1.12.24

但陽信用金庫
平野支店

受付

為替070(7)

お振込先

お振込先

お振込先

お振込先

お振込先

お振込先

お振込先

フリガナ

カクイセニコクシチヨ

ウソニケンシヨウサバイタ

シモニコクシチヨウソニコクサイバシカケンシヨウシ

おなまえ

(公財)全国市町村石研修財団

全国市町村国際文化研修所

様へ

フリガナ

カクカウシキカイ

4アイマコト

おなまえ

加古川市議会 落合 誠

様から

おところ

加古川市加古川町北在家 2000

出張調査届			
市議会議長様		令和元年11月8日	
		会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新	
		代表者 柘植 厚人	
このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。			
出張者氏名 柘植 厚人、落合 誠			
調査都市名及び調査内容 【全国市町村国際文化研修所 研修】 市町村議会議員研修【2日間コース】防災と議員の役割 1月9日（木）11：00～17：30 講義「地域防災力を向上させるために」他 1月10日（金）9：00～15：00 事例紹介「災害弱者への対応～熊本地震における経験より～」他			
出張期間 令和2年1月9日（木）～令和2年1月10日（金）（2日間）			
旅 費 内 訳	目 当 ()	円	経 路 加古川駅 (JR) 京都駅 (JR) 唐崎駅 (徒歩) 研修会場 (徒歩) 唐崎駅 (JR) 山科駅 (JR) 加古川駅
	宿 泊 料 ()	円	
	鉄 道 賃 (2,310円×2)	4,620 円	
	急行料金 ()	円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (7,300円)	7,300 円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	11,920 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。
 ※11,920円×2名＝23,840円



出張調査研修報告書

令和 2年 1月 17 日

市議会議長様

会 派 名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日 程	令和 2年 1月 9 (木) ~ 10 (金)
研 修 先	全国市町村国際文化研修所
研修事項 「防災と議員の役割」【2日間コース】 	
復命事項（所見及び感想） 詳細は別紙にて 別紙の通り、柘植厚人抽選漏れにより、受講できなく、落合誠のみの参加になった。	
出張に伴う経費の精算 前 渡 金 額 23,840 円 精 算 額 11,920 円 過 不 足 額 △ 11,920 円	

研修報告書別紙

【報告者名】 落合誠

【研修先】 全国市町村国際文化研修所

【研修日】 令和 2 年 1 月 9 日（木）～ 10 日（金）

【研修事項】 「防災と議員の役割」【2 日間コース】

【復命事項（所見及び感想）】

1 月 9 日は、まず最初に首都大学東京名誉教授から地域防災力を向上させるためにと題して資料に基づき説明があり、災害時の要支援者も増加し、高齢者が犠牲者の 8 割以上を占める時代になり、関連死も増えているとのことでした。危機管理には、リスク管理として、発生する可能性があるリスクを事前に軽減することと、発生したクライシス事態に対応して拡大を防ぐような危機管理の二種類あるそうで、発生後の関連死などは、市町村で危機管理の想定がされてないのではないかとのことでした。現在の警戒レベルの 4 は、避難勧告と避難指示があり、わかりにくいいため、現在、国において検討がされており、6 段階になるかもしれないそうです。また、「発令の空振り」は許されるが、見逃しは、許されない」ことなので、空振りは、訓練の機会が増えたと理解してもらい見逃しがないようにしなければなりません。

また、業務継続計画や地区防災計画やマイ防災計画まで作成し、災害への対応力を高めないとはいけません。

そして、地方議員に最も期待する防災の取組 10 カ条があり、以下の通りだと学びました。

- ①（前）地方議員は、公人である前に住民として「防災達人」たれ。
- ②（前）災害時の活動は、平時以下でも、平時以上でもない。
- ③（前）学校防災の強化にもっと目を向け、地域を支える「人材育成」
- ④（前）地域防災計画、災害活動マニュアル、BCP を十分理解する。
- ⑤（前後）事前防災も発災対応も、住民目線・女性目線を忘れない。
- ⑥（後）発災 7 日間は、地域住民として、地域で活動する。
- ⑦（後）議員としての活動は、議会として「会派連携」が原則。
- ⑧（後）被災後の対応は、「公平・平等・公正」が基本。
- ⑨（後）職員も被災しているので、行政を支援し、住民を支援する。
- （後）復旧・復興計画策定からは「復興後の地域の維持管理」を念頭に、執行部（行政）に対する「チェック機能」を。

次に跡見学園女子大学の教授から平時の防災と議員の役割と題して、資料に基づき説明があり、特に福祉防災計画が必要であるそうでした。また、近い将来に起こる大災害に備えて早急に防災計画等を作成しないとイケなく、災害時には、社協が支え合いセンターを早期に設置する計画も重要だそうです。

次にワークショップを行い災害時の対応を深める研修がありました。

1 月 10 日は、熊本市議会議員から熊本地震における経験より災害弱者への対応と題して、自身が車いす生活をしており、災害時とその後の対応について当事者目線で資料に基づき説明がありました。

中でも印象的だったのは、障害者手帳を持っている人すべてが災害時に避難所にいけば、各避難所では、受け入れる事が難しく、福祉避難所でも一施設に数人から数十人が限界であるという事実と、施設としてのバリアフリー化などの問題で、実際は、自宅で過ごす障がい者が多いことがわかりました。また、重度の障がい者は、バラバラの福祉避難所等にはばらけるのではなく、特定の施設に避難してもらう事で、高度な対応を効率的に行い、更に他の地域からのボランティアの内で重度の

障害に対応できる専門的なボランティアの行動を効率よくすることは大変重要だとのことでした。

次にバリアフリー仮設住宅も外装のみのバリアフリー化でなく、生活は、室内で行うので、通常の生活に対応できるような配慮あるものにしないといけないとの事でした。当事者でないとわからない事も多いので、専門家の協力で行ってほしいです。

次に、跡見学園女子大学の教授から災害時の議会・議員活動のまとめと展望について資料に基づき話がありました。

特に講師の地域防災で大事に思われることは、以下の通りです。

1.建物の耐震補強

大きな地震がくると弱い建物は壊れやすい。阪神・淡路大震災で亡くなった方のほとんどは、建物の下敷きになっての窒息死、圧死、焼死でした。これはソフト対策ではどうしてもカバーできません。特に、建築当時の法律では合法だけれど、今の基準では違法になる（既存不適格）建物が大きな問題です。違法だろうが合法だろうが、壊れやすい建物を耐震化する制度や現場の知恵、工夫が必要です。

2.ご近所力

災害時は近所の人たちとの助け合いが不可欠です。安全だけでなく安心が得られますから。まずは地震直後の一撃をかわし、次はご近所で困っている人、弱い人も含め、みんなで支えあうという関係を平常時から作ることが大切です。

3.防災教育

災害時はいつもと違うことがたくさん起こります。そのとき、場面に応じて的確な行動が出来るためには、繰り返しの教育が必要。子どもの頃から繰り返し学ぶことで、自然と行動できるようになります。防災教育とは「心の中の堤防を作る」と私は思っています。地域全体に定着するには30年かかるかもしれませんが、最も効果的な防災対策だと思っています。

また、議員としては、地域での活動では、情報の収集と地域のリーダーの一員としての活動を行う事であり、大声を出さない、職員に指示しないことが重要だそうです。

そして、議会は、窓口を議長に一元化することが重要であり、議員から直接に職員への地域要望等を行わないようにして、職員の対応判断のさまだけにならない事への配慮が全議員に必要であり、スタンドプレーは、もってのほかだそうです。職員によっては、議員の要望を付度することで評価されたく思っているものもいるので、議長が「議員要望を優先する必要がない」と明言し、市長等の各長がその言葉は「ありがたい」と表明することも重要であるとの事です。

そして、各地域での「地域防災計画」の策定は、必要であり、また、福祉事業所での「事業継続計画（BCP）」の策定もできていないのが現状であり、平時に議員として策定についての促進する努力が必要であると思われます。

また、ふるさと納税の返礼品として「いつか誰かの命を助ける」ものへの納税の活用も広がりを見せているとの事でしたので、加古川市でも検討することが必要と考えます。

そして、議員の対応についてもマニュアル化を行う事と、年に一度は、そのマニュアルに基づいて防災訓練を議会として行い、実際の時に対応できるようにすることが必要との事でした。

最後に、千葉市の議員さんとの交流があり、実際に千葉市での今回の災害時に議会事務局から議員が直接に行政に要望をしないように通達が出たそうで、この研修での事は、実際に起こっていると感じましたし、議員は、職員より各地域で近い存在であり、市内とその地域を比較しながら、見逃してしまいそうな小さい事などにも関心を持ち、議会へ提案するなど、今後の災害対策への配慮などにも細心の注意をして行政に要望していく事も必要であるとの事でした。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				6
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	広報 調査研究費 	金 額	43,344 円	
内 容	会派市政報告書 516 部郵送代			
支 払 先	日本郵便株式会社	支払年月日	令和 2 年 1 月 14 日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領収書

女性の笑顔で未来を創る会 加古川様

[別納引受]	
第一種定形 @84	516通 18.0g ¥43,344

小 計	¥43,344

郵便物引受合計通数	516通
課税計 (10%)	¥43,344
(内消費税等)	¥3,940)
非課税計	¥0

合計	¥43,344
お預り金額	¥45,000
おつり	¥1,656



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年 1月14日 11:28
担当：[REDACTED]
発行No. 200114A8872 端N68箱03
連絡先：加古川郵便局
TEL:0570-943-857

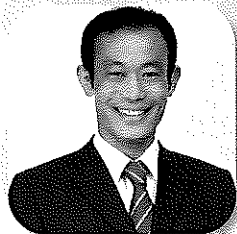
郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 緑色

2019年12月一般質問

柘植 厚人
(つげ あつひと)

【学校外の多様な学びについて】

まず、学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催を求め、

▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設との情報交換の場を充実させてまいりたいと考えておりますとの回答をいただきました。次に学校外の多様な学び等に関する情報提供について求めたところ、▼本市の不登校児童生徒が通うフリースクールや民間施設に関する情報について効果的な提供ができるよう検討してまいりますとの回答をいただきました。

【6次産業活性化について】6次産業活性化のための新商品開発補助金制度を求めたところ、

▼農業者との対話を通じて6次産業化に対する国や県の補助制度を活用するとともに、市としての支援のあり方について検討してまいりますとの回答をいただきました。

その他、6次産業活性化のためのマッチングイベントやセミナーの開催を求めるとともに、6次産業活性化に精通したコーディネーターによる相談対応、企業連携促進支援を求めました。

鋸木 良子
(つばき よしこ)

【太陽光発電施設設置の規制強化について】太陽光パネルが業者から近隣の方々への説明が

なく、設置されました。今後も再生エネルギーの考えが進むにつれて、景観や自然環境の阻害、近隣住民のトラブルの発生など、このような事案がおこることが考えられる事から、規制を強める事、また届け出の対象は、相談を受けたケースでは該当しない事について、加古川市独自で事業区域面積を小さくする等の設置が必要ではないかを伺いました。▼土地所有者の財産権の問題もあるので、立地規制を強める必要性については慎重に検討する。また、本市独自の新たな取組については、十分な精査が必要であり他都市の事例を参考に検討していくとの事でした。

【有機農業の推進について】私たちの身体は食べたもので作られています。今、子供たちの現状、地球環境も含め見つめなおす時期が来ています。安心安全な有機農業を広げ、確実な販路を作っていく事が大事であり、そこで、有機農業や自然農家さんと提携し、保育園給食に繋げる仕組みづくりを要望させて頂きました。▼有機農産物については現在生産量が非常に少ない為、安定的な供給が見込めない。現時点での給食の導入は極めて困難であるとのご答弁でした。次回また新たに・・・

落合 誠
(おちあい まこと)

【子どもの貧困の連鎖をなくす取り組みについて】加古川市の今後の支援について確認しました。

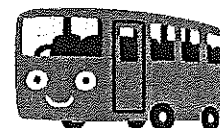
特に「子どもの貧困対策の計画」を策定することは、様々な制度や政策を実施するうえで重要であり、まず、計画策定について質したのに対して、県の計画策定を参考に策定するとの事でした。次に平成28年に加古川市の貧困家庭の現状を把握する調査を要望し、アンケートを実施することで、必要と思われる支援の一つとして子ども食堂の支援策について確認しました。▼子ども食堂の認知度をアップさせて、市民に知って頂く施策と、今後、社会福祉協議会と連携して、まず、子ども食堂運営者同士の連絡会議を立ち上げて、今後の支援をより有効的に行っていくとの答弁でした。次に【ひとり親家庭等の子育て支援について様々な支援方法について】確認し、特に、住環境の確保について「市営住宅などの優先入居制度の確立」を質しました。▼今後、市では、若年層向け入居制度の導入を検討してもらう事になりました。最後に、子育て支援や子どもに関係する事業や制度は、当事者が時間経過で年齢が対象外になるまえに、早急に実施するよう強く要望しました。

令和2年度予算要望のうち 主なもの

● コミュニティバスの自動運転化の研究促進

バス運転手不足、高齢化の流れはこれからも進むと考える。

また路線の維持拡充の観点から、公共交通の最大のコストである人件費を自動運転により解消する研究を促進することを求める。



● 就職氷河期世代に対する職業訓練等支援策の充実

就職氷河期世代が社会に復帰して力強く自分の人生を歩めるように職業訓練等支援策の充実を求める。

● 女性議会の開催

中学生議会のように女性から理事者に対して一般質問をする議会を開催することを求める。

● 女性育成塾の実施

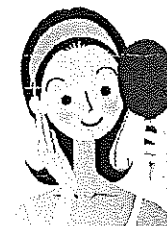
女性が市議会や審議会で活躍できるように市政等を勉強する育成塾を開催することを求める。

● 町内会等女性役員比率アップ補助金制度の設立

女性が地域や団体、職場などで活躍する事は、大変重要な事であり、町内会や自治会、市の審議会や議会などの公的な場で重要な内容を判断する時に女性が関わる割合を増やしていくべきと考える。

● ウィッグ代等補助金

がんは、治る病気になりつつあり、いつまでも綺麗でいたい女性心理と、おしゃれを意識することでの病気への抵抗力を促進し、医療費の抑制と患者の負担を軽減することを求める。

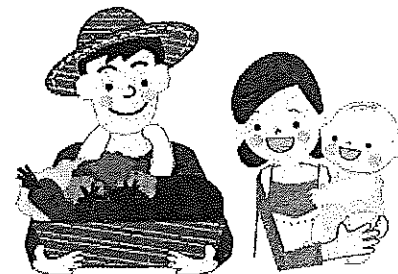


● 不登校児童対策

クラスに入れない、登校してもすぐ帰る生徒を含めた実態を把握し、市教育委員会として現状対応できる予算措置と、兵庫県教育委員会が策定するガイドランを指針とし、義務教育と認められていない学校以外の施設と、どのように連携したら児童生徒が教育を受ける機会を確保できるのか指し示すことを求める。

● 環境創造型農業の推進

県が推進している環境創造型農業や有機農業であるが、本市においても遊休農地の有効活用など、有機農産物の新たな流通実態の理解やオーガニックの食を通じた農産物の魅力を深めるために推進体制を強化することを求める。



議案第64号「加古川市医療費の助成に関する条例」の一部改正

子ども医療費助成で以下の態度表明をして賛成しました。私たちの会派では、設立当初より市民の子ども医療費の負担軽減への積極的な取り組みを要望しており、高校生までの入院費無料化を求めています。小中学までは、発育期間のため、通院費・入院費共にも無料化は、子育て世代の支援策として当然と認識しております。高校生の家庭については、急な入院による個人負担増をなくすことは、非常に重要と考えており、今回の所得制限をなくすことは、当会派の要望している高校生までの子ども医療費無料化への一歩と認識しており、今後も継続的に要望していきます。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			7
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	資料作成費	金 額	56円
内 容	コピー代(12月分)		
支 払 先	株式会社六甲商会	支払年月日	令和 2年 1月22日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

下記の通り正に領収致しました。

領収証No 20200121317788189

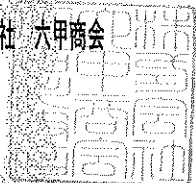
令和2 年 1 月 22 日

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

金額 ￥56

(2月分コピー代)

株式会社 六甲商会



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号	
				8	
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度		
項 目	備品消耗品費	金 額	6,790円		
内 容	プリンターインク代				
支 払 先	株式会社エディオン	支払年月日	令和 2年 1月 15日		
備 考	Canon T S8130用				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

EDION
エディオン

2020年01月15日

領 収 証

女性の笑顔と未来創造会と維新 様

金 額 ¥6,790 -

但し インク代(BCI-381+380/6MP)

消費税等617円含んでおります

発行者

株式会社 エディオン
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号



No.304777 1
発行店 ニッケパークタウン店
電話番号 079-456-8008

金種	内訳
現金	6,790
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

10%対象
10%対象消費税

¥6,790
¥617

お買上明細書

発行日 2020年01月15日(水) 17:09

店: 10269 ニッケパークタウン店

電話 079-456-8008

担当者:

No. 10269-304-111211

POS: 304

取引種別: 持帰

プリンタ消耗品
キヤノン

BCI-381+3806MP

4549292100044

1

¥6,790

合計金額

¥6,790

(10%対象

¥6,790)

(10%対象消費税

¥617)

現金領収額

¥6,790

お預り

¥10,800

お釣り

¥4,010

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				9
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料購入費	金 額	11,960円	
内 容	2019年9月～2020年3月 議員ナビプラス(19/9と19/10～20/3)			
支 払 先	第一法規株式会社	支払年月日	令和 2年 1月 15日	
備 考	振込手数料440円含む			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 証

： 鐸木 良子

様

金額 11,520 円

ただし 議員NAVI Plus

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2020 年 1 月 15 日

☎107-8560

東京都港区南青山2丁目11番17号

第一法規株式会社

代表取締役社長 田 中

<たんよう>カードサービス ご利用明細票

ご利用いただきありがとうございます。
お取扱の明細は下記のとおりでございます。
裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	02-01-15	取扱金庫店番・通番	1696016-1023
お取引金融機関	口座番号		
お取扱金額	000000000		
お取扱後の残高	¥11,520*		
お取扱内容	支払い		
お取扱後の残高	*****		
お取扱手数料	¥440	ページ	硬貨
時刻	15:42	おつり	
銀行			
支店			
ダイイチホウキ (カ様			
1246060様			
TEL			
ご利用ありがとうございました。			

☎ 恒陽信用金庫

納 品 書

☎107-8560

東京都港区南青山2丁目11番17号

第一法規株式会社

代表取締役社長 田 中 英 彦

TEL ☎ 0120-203-69

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様 2019 年 10 月 10 日

下記のとおりご納品いたします。

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

ご納品額

¥11,520

お客様番号

請求書番号

1246060

商 品 名	明 細 (追録号数)	数量(号)	単 価 (号)	部 数	金 額	備 考
議員NAVI Plus	ご 利 用 期 間 19/ 9		千 円	1	1620	
	ご 利 用 期 間 19/10~20/ 3			1	9900	

定期

【取引銀行】

銀行 支店 銀行 支店 銀行 店

1 / 1

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			10
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	資料作成費	金 額	13円
内 容	コピー代(20/1月分)		
支 払 先	株式会社六甲商会	支払年月日	令和 2年 1月 28 日
備 考	使用期間 1/1~1/22まで分		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

領収証No. 20200124318444295

令和 2 年 1 月 28 日

下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

